

飯伊 産業経済動向

No.489 2019/12
(2.1.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
地域サポート部
しんきん南信州地域研究所

http://www.iidashinkin.co.jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,356 枚	36.8 %	11.7 %
	金額	4,487,104 千円	56.9 %	1.8 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	(前月 1 枚)	(前年同月 0 枚)
	金額	0 千円	(前月 257 千円)	(前年同月 0 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	10 件	(前月 8 件)	(前年同月 3 件)
	飯伊	0 件	(前月 2 件)	(前年同月 0 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(11月)		98 戸	88.5 %	3.2 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(11月)		1.41 倍	(前月 1.38 倍)	(前年同月 1.54 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,010 台	△ 4.3 %	2.5 %
	中古車	660 台	1.2 %	13.0 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (11月)	新車	4,034 台	23.8 %	△ 6.5 %
	中古車	937 台	5.3 %	10.9 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	109,568 台	△ 9.7 %	△ 1.7 %
	出	113,064 台	△ 7.3 %	△ 2.1 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	76,343 台	△ 16.0 %	△ 0.9 %
	出	75,570 台	△ 15.4 %	△ 0.2 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	13,760 台	△ 33.7 %	10.3 %
	出	13,735 台	△ 33.4 %	7.4 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	39,119 台	△ 25.3 %	7.0 %
	出	39,321 台	△ 26.1 %	6.5 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		207 件	41.8 %	38.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		2 件	(前月 7 件)	(前年同月 16 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	28,628 人	3.3 %	0.7 %
	飯田～名古屋	18,558 人	0.6 %	2.1 %
	飯田～長野	7,906 人	△ 10.9 %	△ 6.2 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	22,589 人	2.8 %	△ 2.3 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,750 人	1.8 %	6.7 %
	右回り	3,880 人	14.4 %	11.8 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性油型インキ
[エチルアルコール]を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

12月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス10.5で、前月から7.4ポイント上昇。翌月予測もマイナス13.6で、前月から8.6ポイント上昇している。

電気、精密機械器具の販売の前月比は、概ね横ばい～やや増加。当月の景況感に大きな動きはなかった様子も、先行きの見方は分かれ、弱含んでいるとの声も。半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比概ね横ばい。一部に前年比も増加との声。向こう数か月は上向きとの見方が多い。産業機器や医療機器向け部品の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、減少～やや減少との声が多い。景況感は、一部に好転した業者もあるが、悪化とする業者が少なくない。建築用金属製品の販売は、前月比、前年比とも増加との声。自動車向け部品の販売は、前月比やや減少。前年比はやや増加も、景況感悪化との声が寄せられた。小型電磁機器の生産は、前月比概ね横ばいとの声。先行きは明るいとする見方も。FA関連モーターの受注残高は、「産業機械向けが減少で推移」など前月比、前年比ともやや減少、景況感悪化との声。電気、電子製品の生産は、前月比概ね横ばいも、先行きは上向きとの声が聞かれた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、やや増加～増加も、「今一つ良くない」などの声。前年比については、やや減少しており、「菓子は消費増税の前後から良くないとの声が多い」との声も。水引製品の販売は、前月比減少、前年比は業者により増減分かれる。資材価格に関し、「中東情勢などが為替レートに与える影響を注視している」との声が寄せられた。

建設業

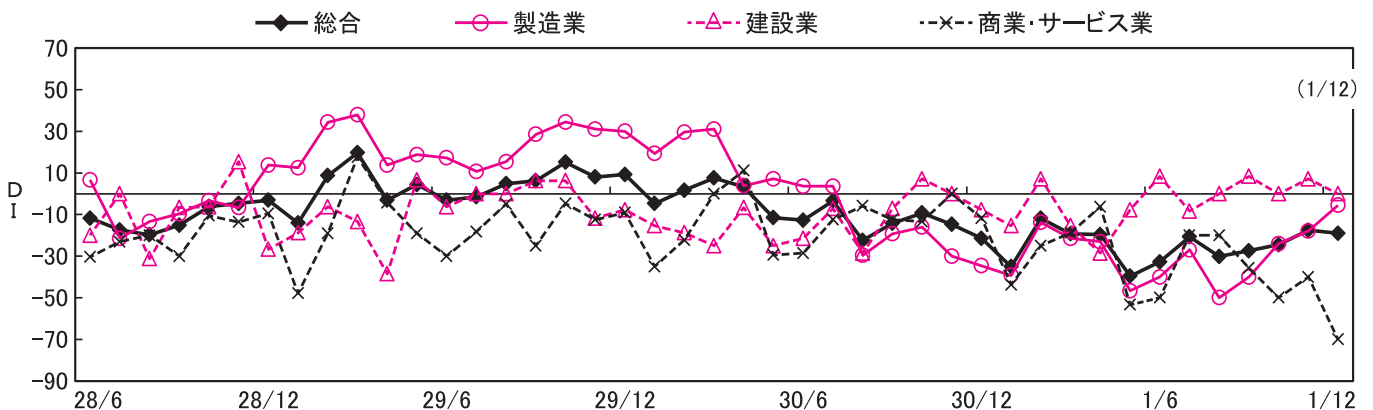
12月の建設業の景況DIは0.0で、前月から7.1ポイント下降。翌月予測DIは0.0で、前月から横ばい。

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約28.2億円、前月比62%増加、前年比も6%増加している(令和2年1月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高の前年比は、増加との声も複数。「建設業は、引き続き国土強靱化、三遠南信自動車道、リニア関連工事などで忙しい」などの声が聞かれ、繁忙が続いている様子。11月の住宅着工戸数は98戸。前月比89%増加、前年比も3%増加。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばい。「仕事は少ないが何とかつなげている。小規模ではあるが工事が少しあって助かっているのだが、大きい仕事が取れる予定はない」などの声が寄せられた。

商業・サービス業

12月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス70.0と、前月より30.0ポイント下降。翌月予測DIも、マイナス63.6で、前月より51.1ポイント下降している。食料品の売上は、前月比横ばい～やや増加も、景況感が好転したとの声は聞かれない。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感に変化はないとの声が寄せられた。家事用品卸の売上は、前月比やや増加も、前年比やや減少との声。「暖冬でカイロなど冬物の売上が伸びない」など、景況感悪化。衣料品の売上は、前月比増加も、前年比は「売上、単価とも減少」という。OA機器の売上は、「パソコンの買い替え需要等」で前月比、前年比とも増加との声。土産物の売上は、前月比やや減少、景況感悪化との声が寄せられた。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比4%減少も、前年比は3%増加。11月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比24%増加も、前年比は7%減少。市内料理店の売上は、前月比増加も、前年比は減少との声。市内宿泊施設の売上は、前月比減少との声が寄せられた。昼神温泉の売上は、前年比減少との声。タクシーの売上は、「12月は繁忙期」で前月比増加も、前年比は減少という。

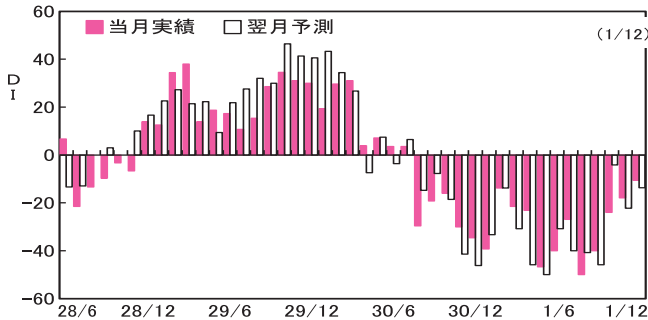
飯伊地区景況DI (本誌調査)



製造業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月実績DI -10.5（前月 -17.9）

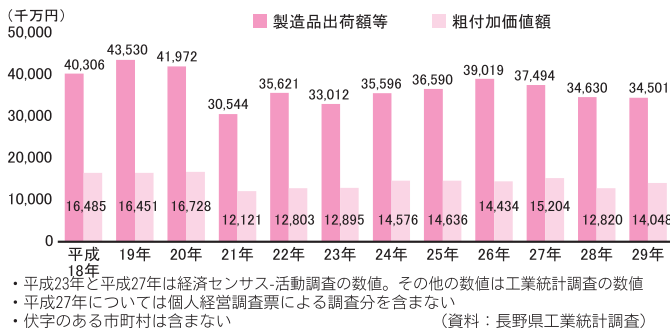
翌月予測DI -13.6（前月 -22.2）

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス10.5で、前月から7.4ポイント上昇。翌月予測もマイナス13.6で、前月から8.6ポイント上昇している。

工業統計調査結果

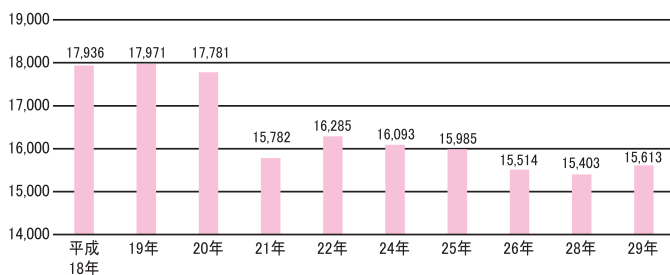
長野県が公表した工業統計調査によると、平成29年の飯伊地区の製造品等出荷額等は約34,501千万円で前年比マイナス0.4%、粗付加価値額は約14,084千万円で前年比プラス9.6%となっていた（図1）。

図1 飯伊地区 製造品出荷額等、粗付加価値額の推移（従業員4人以上の事業所）



同調査によって飯伊地区の製造業の従業者数を見ると、平成29年は15,613人で、平成28年より1.4%増加していた（図2）。

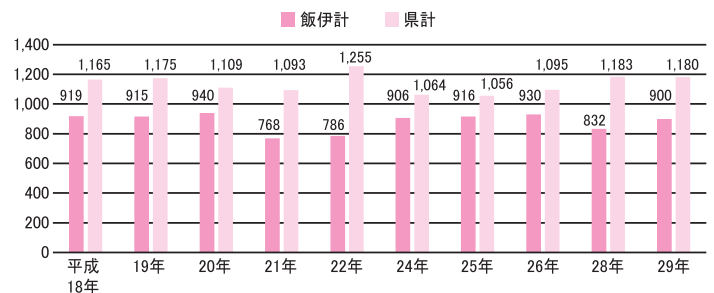
図2 飯伊地区 従業者数の推移（従業員4人以上の事業所）



これらを基に平成29年の従業員一人当たりの粗付加価値額を試算すると約900万円となり、平成28年に比べ8%増加している（図3）。因みに県計では従業員一人あたりの粗付加価値額は、1,180万円となり、平

成28年に比べ0.2%の微減、グラフに無いが上伊那では1,254万円で、平成28年に比べ2.0%減少していた。

図3 従業員一人当たり粗付加価値額の推移（従業員4人以上の事業所）

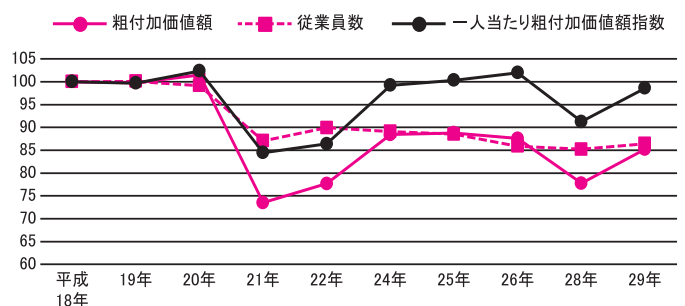


粗付加価値額、従業員数に関する注は、図1、2参照（資料：長野県工業統計調査）

図4は、同調査によって粗付加価値額、従業者数、一人当たり粗付加価値額について、平成18年を100として各年の指数を試算したものの、粗付加価値額や従業者数については、平成20年のリーマンショック以後、それ以前の水準には戻っていないことが見て取れる。

一方、リーマンショック後2年ほど経過して概ね平成18年と同様の水準に回復した一人当たり粗付加価値額は、平成28年にリーマン以前の水準を下回ったものの、平成29年に概ねリーマン以前の水準に回復している。

図4 粗付加価値額、従業者数、一人当たり粗付加価値額指数の推移（H18=100 従業員4人以上の事業所）



粗付加価値額、従業員数に関する注は、図1、2参照（資料：長野県工業統計調査）

機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売の前月比は、概ね横ばい～やや増加。当月の景況感に大きな動きはなかった様子も、先行きの見方は分かれ、弱含んでいるとの声も。一部に雇用面、設備面で積極的な声も寄せられた。当月、原材料、資材価格や販売価格に大きな動きはなかったという。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比概ね横ばい。一部に前年比増加との声。依然、「米中貿易摩擦の影響と中東不安で先行きは見えない」ものの、「3月以降の受注増。前倒し納入あり」「年明け以降上昇の兆しあり」「少しずつ受注が増えだした」「少し動きがある」など、向こう数か月上向きとの見方が多い。「一部製品良好」「3月以降に納期の製品増加。開発試作品増加」「FPD関連少々」「ロジック系は動き出した。メモリー系はまだ先になりそう」などの声。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も、一部に先行きの増加を見込む声も。雇用面では現状維持との声が多いが、今後若干の増員を検討している業者

も見られた。設備面で積極的な声が複数聞かれた。

産業機器や医療機器向け部品の受注残高の前月比は、業者により増減分かれるが、減少～やや減少との声が多い。「製品によっては、客先が在庫を積み増していると聞く。これによって受注が増えだしているが、春先以降は分からない」「ロボット関連は、まだまだ様子分からない。どこが底なのかすら分からない」「少し動きは始めているが、バラつきがある」「全般的に仕事量減少」「客先からの発注量が減少」「航空機関連は順調との声も聞く」「半導体など一部で動き出したとの声があるが、全体的には動きが悪いとの声が多い」「11月中頃から動きが悪く、3月までは良くないとの予想が多い」「物流が少ない」「客先の海外展開が増えている」などの声が寄せられた。こうした中、景況感、一部に好転した業者もあるが、悪化とする業者が少なくない。

設備面では、「納期の関係で検討」といった声もあるが、現状維持との声が大勢。雇用面でも現状維持との声が多いが、一部に「一名予定。継続して募集」との声も。原材料、資材価格は、「一部ステンレス値上がり」も、大きな動きではなかった様子。

建築用金属製品の販売は、前月比、前年比とも増加、景況感の好転には至らないものの「好調」との声が寄せられた。「オリンピック関連は一段落。今後は首都圏の再開発が中心になりそう。これらの中には続きそうなものも」という。原材料、資材価格に関し「非鉄金属、LPG がやや上昇という」

自動車向け部品の販売は、前月比やや減少。前年比はやや増加も、景況感悪化との声が寄せられた。先行きは大きな動きは見込まれていないという。

小型電磁機器の生産は、前月比概ね横ばいとの声。先行きは、明るいと見る見方も。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。設備面で積極的な声が聞かれた。

FA 関連モーターの受注残高は、「産業機械向けが減少で推移」など前月比、前年比ともやや減少、景況感悪化との声。「中国における貿易摩擦の影響が国内販売で出ている」など先行きに不透明感が続いているという。原材料、資材価格が上昇基調にある一方、製品単価は下降基調にあるとの声が寄せられた。

電気、電子製品の生産は、前月比概ね横ばいも、先行きは上向きとの声が聞かれた。雇用面で不足感を指摘する声も。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、やや増加～増加も、「今一つ良くない」などの声。前年比についてやや減少との声が寄せられ、「菓子は消費増税の前後から良くないとの声が多い」「コンビニ向け、プライベートブランド商品、及び輸出減少が原因」という。一部に原材料、資材価格が上昇基調との声。雇用面では現状維持の様子。一部に設備面で積極的な声も。

水引製品の販売は、前月比減少。前年比は業者により増減分かれる。「正月飾りは前年より微増。良い品を消費者に届けていれば引合は増える」「安値競争を避けなければ継続は難しくなる」「祝儀用品全般の販売が低迷しているさなか、政府のキャッシュレス促進などは祝儀袋の減少につながるか心配している」などの声が寄せられた。「全体に正月飾りに傾注している感があるが、祝儀産業として切磋琢磨しなければ秋風索漠となりかねないのでは。業界団体を中心に一

丸となって PR などに注力すれば祝儀産業としての需要をまだ掘り起こせるのではないか」との声も。原材料、資材価格に関し、「中東情勢などが為替レートに与える影響を注視している」との声が寄せられた。

その他製造業

印刷、出版関連の売上は、前月比やや増加も、前年比やや減少との声。「年賀状、喪中葉書は、件数、売上共に前年に比べ減少。今後益々減ってくる傾向。日本の良き文化を何とか残せないものか」「年末、年始のチラシは、大きなダウンはなかったものの、経費に見合う売上がないと、初売りチラシを止める客先もあった」などの声が寄せられた。先行き、原材料や資材価格がやや上昇見込みとの声が聞かれた。

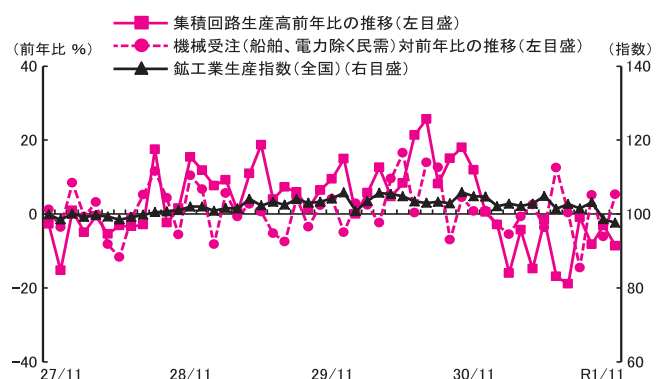
衣料品の受注は、前月比、前年比ともやや減少との声。「春、夏物の初期の発注が遅く、手空きの工場も多いのでは。このままだと、4月末、ゴールデンウィーク前の納品が間に合わない状況もできそう」「生活に根差した商品しか売れない時代。商品が画一化し、販売先もリスクを冒さない。閉塞感ばかりが先行し、先行きが見えてこない。原点に戻ってコストを無視しても自分たちの着たい、オリジナリティーがある企画が求められていると思われる」などの声が寄せられた。設備面で積極的な声も。

住宅機器、オフィス家具、店舗用什器の生産は、前月比増加も、前年比減少の様子。「先月が、一時的とはいえ悪過ぎ、年末にかけて回復してきた。とは言うものの、昨年と比べるとまだまだの数字。今年は春までは良さそうだが、夏場以降は昨年同様下降するとの予測も聞かれ、春までにどこまで回復するかが鍵になりそう」「とりあえず仕事はあるといった声が多いが、採算性の悪いものが一向になくならない状況のように思える。こうした仕事を引き受ける会社があるということだろう」などの声が聞かれた。原材料、資材価格に関し、「輸入材が主軸の業種だけに、円安が進む現状に危機感がある」との声。雇用面、設備面で積極的な声も。

【企業からのコメント】

- ★「4月、新規学卒者複数名採用」「ベトナム人社員入社予定」「求人に対する反応が少なく、求人を継続」
- ★新年を迎え、商売は閑散とした状況。
- ★年末年始の休みもあり、売上はどうしても落ちる。
- ★不安定な世界情勢が続いて緊張が高まっていて景気は停滞中。
- ★隙間産業にチャレンジして活性化を図る。

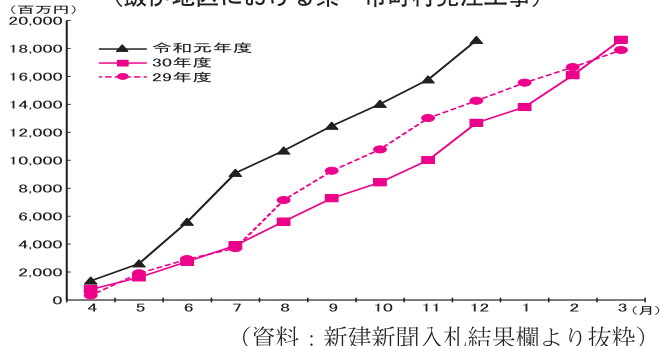
集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



建設業

入札額累計の推移

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新建新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI 0.0 (前月 7.1)

翌月予測DI 0.0 (前月 0.0)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約28.2億円、前月比62%増加、前年比も6%増加している(令和2年1月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前年比は、増加との声も複数。「災害対応の受注増加がある」などの声が聞かれたほか、「建設業は、引き続き国土強靱化、三遠南信自動車道、リニア関連工事などで忙しい」「今後補正予算工事も出てくるので、手持ち工事を竣工させ次の受注を目指す」「年度末までは十分な受注量がある」などの声が聞かれ、繁忙が続いている様子。

とはいえ、「建築はどんな仕事も少ないと思う。土木が忙しいのと対照的」「建築は大型工事がない」など土木工事の発注が多いほか、土木工事でも「全体的に忙しいが、法面工事、浚渫工事といった工事が特に忙しい様子」など工事に偏りがあるとの声は当月も多い。

受注残高の前月比は、横ばいとの声が多く、「現状の入札状況を見ると応札者が比較的小さく、不調物件も見受けられる」「官庁の発注量が多く、選別受注をしている様子がある」「繁忙で入札不調、入札者ゼロといったケースが出ている」など、人手、専門業者不足や繁忙といった諸般の事情もあってか、受注残高が増えている様子も窺える。

「年度末工期の工事が多い」「各社年度末完成工事が多い」といい、「新年度以降に工事高の減少が予想される」「毎年年末には繰り越し工事がある程度あるのだが、今年は少ない」などの声も。

雇用面では「不足。募集中」「不足した状態は当面続く」「農業従事者、定年退職者に頼んでいる」「不足してくるが、現状を維持」などの声が聞かれた。

民需

当地区の11月の住宅着工戸数は98戸。前月比89%増加、前年比も3%増加。

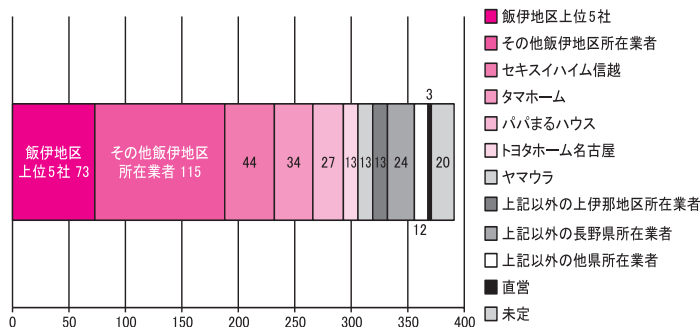
当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばい。「仕事は少ないが何とかつながっている。小規模ではあるが工事が少しあって助かっているのだが、大きい仕事が取れる予定はない」「民間の建築は仕事が少ない様子」「住宅改修工事中心。新築の受注はなかった」などの声が寄せられた。

飯伊地区における施工者別建築確認申請数

飯伊地区においてH31/1/1～R1/12/31を施工期

間とする住宅、集合住宅の建築確認申請のうち、施工者を把握した391件の内訳を見ると、申請時点で施工者が決定していた中ではセキスイハイム信越の44件が最も多く、次いでタマホーム34件などとなっている。当地区に所在する業者が施工者となっていたのは188件で、その内上位5社で63%を占めていた。

施工者別 飯伊地区の住宅・集合住宅 建築確認件数(件)



(資料：新建新聞より抜粋)

建設資材

鋼材の売上は、前月比やや増加も、前年比減少、「動向に大きな変化はなく、低迷状態が続いている」などの声が寄せられた。先行きに関しても、「好調な業種がなく、年が明けても上向く要素は見いだせない」との声も。鋼材価格について、「横ばいが続く。流通量が少なく弱めの相場」という。

生コンの売上は、前月比やや減少～微増、前年比は調査先により増減分かれる。「相変わらず生コンは出荷がない。生コンを使う仕事が少ない。三遠南信自動車道、リニア関連が動いてこない」と大きな出荷は見込めないなど景況感が好転した業者は見られない。当月の主な出荷は、「三遠南信自動車道工事、砂防堰堤工事、床固工事、発電所工事、マンション新築工事に関わるもの」という。「リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の3%未満」という。一部に設備面で積極的な声も。

骨材の売上は、前月比、前年比とも概ね横ばい～やや増加。「地域によっては生コンに動きがあるものの、業界全体としては中々活気が戻ってこない」などの声が寄せられ、景況感が好転した業者はみられない。

【企業からのコメント】

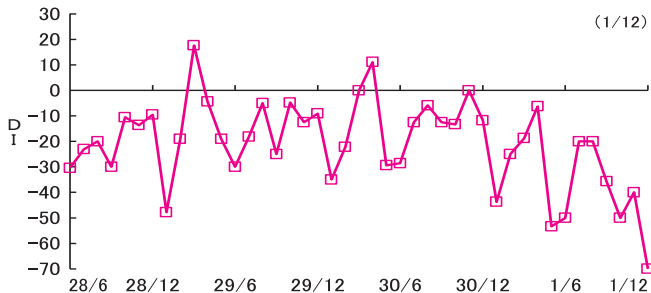
- ★専門業者に限りがあり、工事の進捗は遅れているとの声は多い。
- ★前年より工事の進捗率が悪い。
- ★地元の建設業は忙しい様子。
- ★当社は農業分野に進出しているが、行政と一体となって販路拡大などを検討中。
- ★建設業にしても、サービス業にしても厳しいところはあるだろう。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

12月	〇飯田建設事務所分
新築	15件 (前年 18件)
増築	0件 (前年 5件)
	〇飯田市役所分
新築	25件 (前年 12件)
増築	0件 (前年 3件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI	-70.0	(先月 -40.0)
翌月予測DI	-63.6	(先月 -12.5)

商業

食料品の売上は、前月比横ばい～やや増加も、景況感が好転したとの声は聞かれない。「クリスマス商戦は例年並み」「年末商材をかなり絞り込んだため、例年より在庫が少なく済んだ」「お歳暮の利用は、点数、単価ともに下降気味」などの声。当月、仕入単価が上昇した様子。

【青果卸売市場】

販売は「年末、年始需要と干柿の出荷」で前月比増加、概ね前年並みの売上という。

野菜は、「昨年に続き作柄が良く、胡瓜を除き順調な入荷で、売上も前年並み。年末年始といった季節感もなくなりつつあり、全体の動きは鈍い感」という。

果実は、「主力の市田柿は出荷遅れで前年に比べ入荷が減少。みかんと苺の作柄が悪く、単価高。りんごも価格高で、全体では入荷量は前年に比べ7%減少、価格は10%高。年明け後天候に恵まれ干し柿の出荷が順調で、次月に期待」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感に変化はないとの声が寄せられた。

家事用品卸の売上は、前年比やや減少との声。「暖冬でカイロなど冬物の売上が伸びない」「神棚飾りがだんだん少なくなっている。神棚のない家庭も増え、神棚を飾って正月を迎える風習が廃れていく感」など、景況感も悪化との声。紙類などで「やっと間に合ったが、価格が高止まり」という。

衣料品の売上は、前月比増加も、前年比は「売上、単価とも減少」、「需要は弱い」など景況感悪化との声が寄せられた。「中京圏の仕入業者が事業をやめた。業界は厳しい状況」との声が聞かれた。

OA機器の売上は、「パソコンの買い替え需要等」で前月比、前年比とも増加との声。こうした需要も「一段落」という。その他先行きに関しては、「新製品に目新しいものが無い」との声が聞かれたほか、年度末需要に向け製品在庫の増加が見込まれている。一部に雇用面で積極的な声も。

土産物の売上は、前月比やや減少、景況感悪化との声。先行き仕入価格の上昇を見込む声も。

松本自動車検査登録事務所管内の**自動車新規登録台数**は、新車は前月比4%減少も、前年比は3%増加。中古車は、前月比1%増加、前年比も13%増加している。11月の県全体の**軽自動車新規登録台数**は、新車は、前月比24%増加も、前年比は7%減少。中古車は、前月比5%増加、前年比も11%増加。

サービス業

市内料理店の売上は、前月比増加も、前年比は減少との声。「ぎりぎりまで年末という感じがしなかった。昨年まで忘年会をしてきていた会社が数社減った。景気は悪いと思う。繁盛店を研究していきたい」「常連客の年齢層が変わったこともあって客単価が下がった」「お客様は値段に敏感になっている。メニュー開発といった付加価値を上げて満足して頂くことを心掛ける」「お年取り用の注文は昨年よりも多かったし、単価も比較的良かった」などの声。総じて景況感が好転した業者は見られない。

市内宿泊施設の売上は、前月比減少との声。「宿泊者数、単価共に減少していることが要因。例年2月まで低迷する時期で、それ以降の回復を見込んでいる。これは全国的に同じ傾向だと思われるが、長野県、南信エリアは殊更に厳しいとの声が多い」などの声が寄せられた。

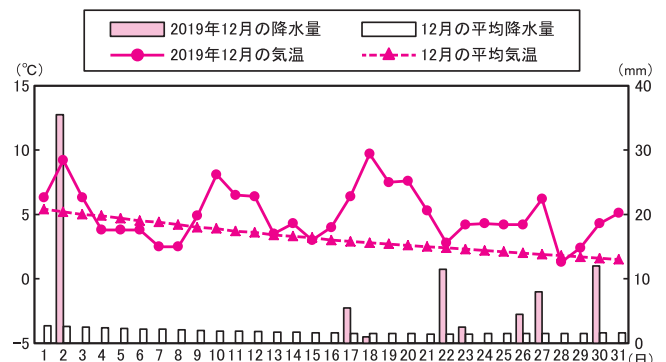
昼神温泉の売上は、前年比減少との声。「今年は前年割れの月も多く厳しかった。どこも一緒だが、天災、消費税などで景気は悪い。一層の努力が重要」「ウインターナイトツアーは予想以上の賑わい。独自の企画も賑わいを見せた。お客様ができるだけ寒さを感じないようにしている。一方で、年配のお客様に来て頂いていない気がして怖い」「部屋の稼働率は高いが、2名1室での利用が多く、売上は伸びない」等の声が寄せられた。「大変な人手不足」で、「受け入れられない日もある。お客様の数を減らして対応せざるを得ないことも」との声が寄せられた。

タクシーの売上は、「12月は繁忙期」で前月比増加も、「需要は週末2日間に集中しており、他の日の、特に夜間の需要の落ち込みが大きい」「穏やかな天候の影響」、人員不足などに伴う「実働車両の減少」などで、前年比は減少という。「運賃の改定などで、どこまでサービスを充実できるか、労働環境を改善できるかを選択していかなければならない。当社のみならず、キャッシュレス対応などかなりの負担増があるのではないか。実質的な売上を向上させる必要がある」などの声。LPG価格は「今後値上がり傾向」という。

【企業からのコメント】

- ★設備面で不足感がある。
- ★当業界のみならず忘年会が少ないと良く耳にするが、確かに少ない。
- ★扱う機器を生産している企業の経営が変わった。今後の動きを注視する必要がある。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目（33） 社長がTOP営業マン

飯田信用金庫 地域サポート部
専門アドバイザー 小泉 敏郎

米中貿易問題を含め世界経済が激変している昨今の状況はご存知の通りですが、その煽りを受け、影響の度合いは業種や企業によって大きく変わりますが、各社の業績は大きく変動していることと思います。会社の業績が悪いということは売上げが減少しそれに伴い利益が出ない、もしくは赤字ということです。売上げが減少しても経費、特に固定費は殆んど変わりませんから、バランスが崩れて結果営業利益が出ないということになります。

技術革新の急激な進展により、客先の需要内容の変化も激しく製品、商品の寿命は益々短くなってきています。既存の得意先、あるいは既存の量産している製品も次々に代替わりしており、現状維持の姿勢では自ずと売上げが減少するのは火を見るよりも明らかなことです。その状態に早急に手を打ち改善しない限り、次に来るのは最悪の事態、企業倒産しかありません。

売上げ＝客先数×一社当りの平均売上げ と考えられるので既存の客先の平均売上げを上げるか、客先数を増加するしか売上げを増やす方法はありません。現有客先の売上げ向上作戦は当然どの会社も実施しているのは言うまでもありませんが、客先の規模、競合などを考えると非常に難しく簡単に増加は叶わないと思われれます。

残る方法は新しい客先開拓しかありません、皆さんの会社の営業は売上げに対して新規得意先の比率がどの程度ありますか？

毎年の新製品割合や新規得意先比率がどのぐらいか把握できていますか？

既存の受注製品、流れ製品は刻々と寿命が近づき売上げ減少方向に向かっているのです。

今現在、既存の製品売上げが上昇しているならば、それは間違いなく下降の始まりと考えなければいけません、ピークは下降の前兆です。

売上げを上げるには既存の客先から新しい製品受注を取るか新規客先開拓しかありません。

貴方の会社では新規客先開拓の仕事は、営業部隊が担当しているのは当然ですが、社長自らはどの程度係わっていますか。99人以下、50人以下の企業においては永年いろいろな企業を見てきた結果で申し上げますが、業績の良い会社ほど社長は良く働き、客先へも足繁く通い人間関係を築き受注活動をしているものです。営業は営業部長に任せているのだとか、私は技術屋だから営業は無理なのだとかの言い訳は中小企業の社長さんの言う台詞ではありません。営業の元締めは社長です。率先垂範が大事です。

我が社のTOP営業になるのだと心に決めて前向きに取り組むことが大事であり、社長のその後ろ姿を見て営業部長初めその部下が鼓舞され本気で働いてくれるのです（背面教授方）。

景気が悪いからしょうがないのだ、売上げが上がらなくて困っていると嘆く前に自らが新規客先開拓に出かける姿勢が大事です。

自分の会社を本気で守るなら社員以上に働くのは当然のこと、働き方改革は従業員の為のものであり、経営者には休みはありません。365日、一日24時間会社経営のことを考えているのが当たり前、家族、社員、社員家族を守るのは社長の仕事、その為には新規客先の開拓をして新規受注を取る以外に会社を救う方法は無いと言っても過言ではないのではありませんか。

営業の仕事は人と人との対面行為です、お互いに顔を合わせて話すことから始まります。

営業の極意は技テクニクではなく人間性、心の部分が一番大事なのです、自社を愛し自社の製品技術力、品質に自信を持って説明する前向きで謙虚な姿勢が客先の心を動かすのです。客先に信頼されるか否かが勝負の分かれ目ではないでしょうか。

営業で大事な項目をまとめてみます

1. 社長自身の人柄が商品であるという認識を持つこと
2. 誠実味があり、明るいこと
3. 嘘をつかないこと
4. 約束や時間をまもること
5. オーバーに物事を言わないこと
6. 自分に非があれば素直に謝ること
7. 相手の価値観を認めること
8. 話し上手より聞き上手であること
9. 有益な情報を提供できること

まだまだあると思いますが、相手も喜怒哀楽を持った人間です。さわやかな良い印象を相手に持って貰うことが一番であり、社長自信が常に勉強し時代に取り残されていないことが重要です。

何と言っても社長自身が汗をかき前向きに懸命に努力している姿が客先に認められ、その姿勢が部下を動かす原動力となります。己の信じる所を持って夢に向かい一心不乱に仕事をする行為こそが周りの人間を動かすことができ、部下を引き付けることに繋がるのではないのでしょうか。

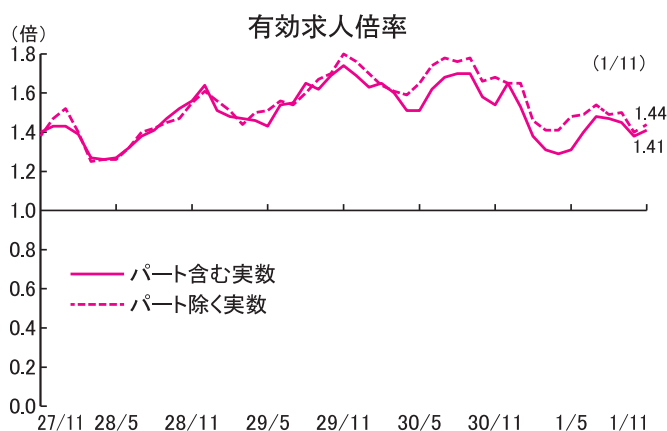
社長自らが Top 営業マンになり、部下を牽引し明るい未来を構築したいものですね。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

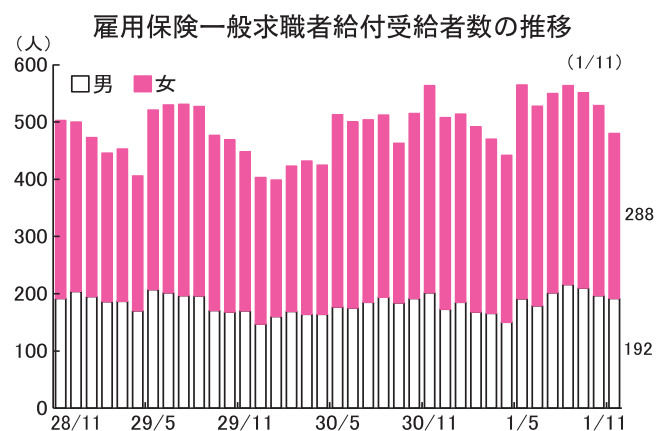
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、お取引の支店、または 飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



11月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.41倍と、前月から0.03ポイント上昇。パートを除く実数も1.44倍で、前月から0.04ポイント上昇している。



11月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は5人減少、女性も44人減少、全体では480人と前月から49人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)

リニア新幹線沿線信用金庫共同調査

リニア中央新幹線に関するアンケート調査結果概要(2)

～ 長野県・飯伊地域は期待と不安が交錯 ～

前号に続き、リニア沿線信用金庫（山梨県：甲府・山梨信金、岐阜県：東濃信金及び当金庫）共同調査の当県・地域分調査結果を紹介する。

1 リニアに対する期待と不安

「リニア中央新幹線に期待しますか」「リニア中央新幹線に不安を感じますか」について、男女別に見てみた。

「期待する」は男性の方が高約6ポイント高く、「不安を感じる」のは女性の方が約5ポイント高い。「期待せず」「不安を感じる」面は女性の方が強いといえそうだが、これを別の「リニア新幹線を利用しますか」の質問項目でみる。男女別では、「殆ど利用しない」「利用しない」の比率は男女で大きな差は見られないように思える。これに対し、「大いに利用」は男性13%に対し女性4%と大きな開きがあり、「大いに利用」「ある程度利用」計でも男女の差が大きく出ている。その分は「どちらともいえない」が男性8%、女性20%の差に表れている。

女性の方にリニア新幹線を利用するイメージがまだ描けていない、あるいはリニア新幹線に関する情報取得が十分でないことがこの結果になっているといえるのではないかと。

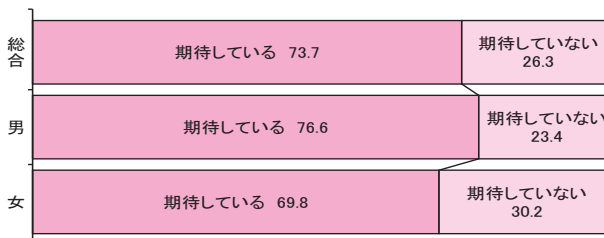
2 リニア利用の年代別状況

「リニア新幹線を利用しますか」を年代別にみると、「大いに利用」は50代をピークに60代、70代、80代と徐々に低下。10代から40代にかけては50代、60代をやや下回っている。

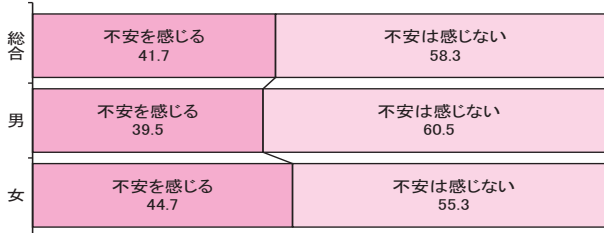
これが「大いに利用」「ある程度利用」の計では、20代をピークに30代で若干の不連続となっているものの80代に向かって徐々に下がっていく。

20代、30代、40代はこれからリニアを利用する世代として期待が高く、10代（主に高校生）は、情報取得が十分でないためなどからリニア利用について明確な判断がついていない状況といえるのではないかと。

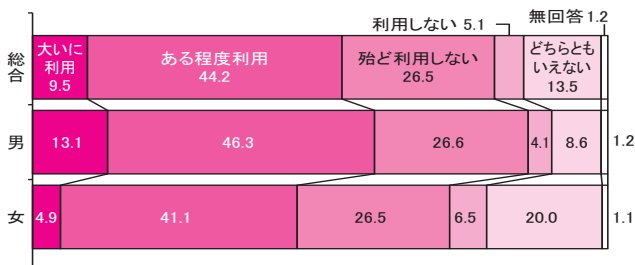
Q：リニア新幹線に期待しますか



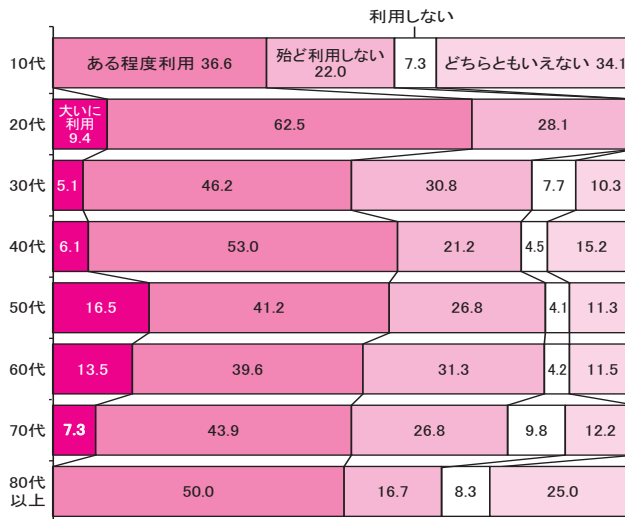
Q：リニア新幹線に不安を感じますか



Q：リニア新幹線を利用しますか 男女別状況



Q：リニア新幹線を利用しますか 年代別状況



3 当地域が描くリニア開通後の光景は

リニア中央新幹線の開通後の当地域・経済についてどのような期待や見通しを持っているか、各項目の回答状況から窺うこととする。現在、リニア沿線4金庫による取りまとめ中で、そこで得られた神奈川・山梨・岐阜・愛知の各県別データの状況とも比較する。

① 観光客の来訪者数(再掲載)

前号でも触れたが、来訪者数「増加」「やや増加」計で72%と県別で最も高い。これに次ぐのは山梨県64%、岐阜県59%の順である。

② 地域の商業力

リニア開通に伴う地域内の事業者の増減や地域の購買力の推移という両面を意識しての回答となっているとみられるが、「増加」「やや増加」計で42%。「やや減少」「減少」計では17%と4県中で際立って大きい値(他県は2~5%)。

③ 地域内の事業所数

事業所数の「増加」「やや増加」計で40%。山梨県は36%、岐阜県は33%程度と当地域の期待は大きいといえるのではないかと。

④ 仕事と雇用

「地域内の仕事・顧客の増減」の質問項目では「増加」「やや増加」計が46%、「利域内の雇用(創出と流失)」項目では「増加」「やや増加」計が37%となっている。雇用の「やや流失」「流出」計は22%(他県は7~12%)で、新幹線開通により雇用の縮減に繋がることの危惧が他県よりやや大きくなっているとみられる。

⑤ 地域内の人口

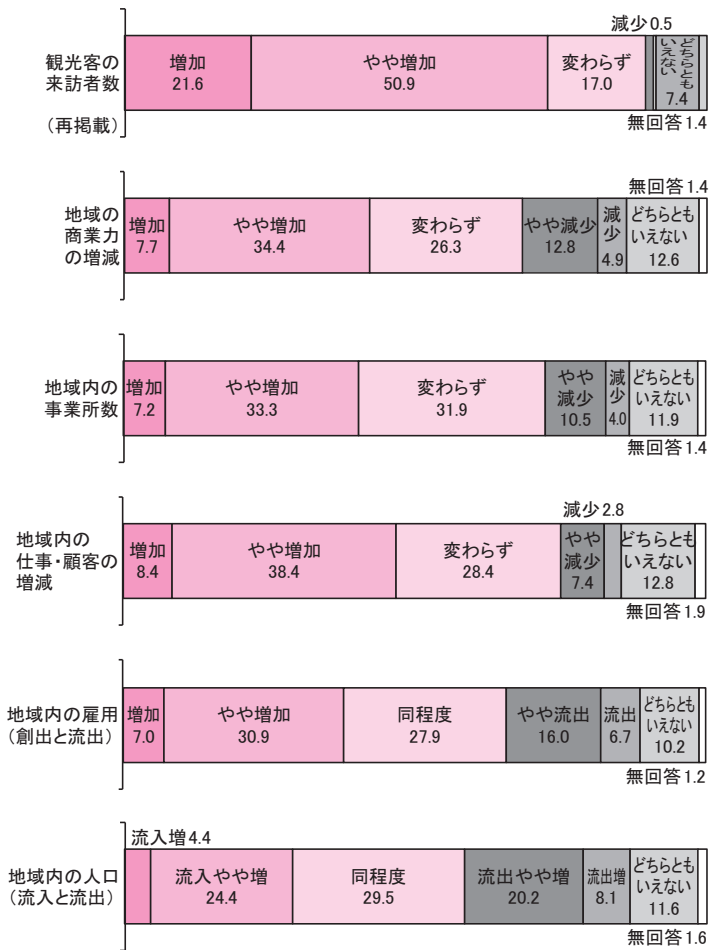
地域内の人口見通し(社会的増減)については、「流入増」「流入やや増」計28%、「流出やや増」「流出増」計28%とほぼ拮抗した結果となっている。

以上の項目を他県と比較すると、当県・地域はプラス面の評価比率は他県とほぼ同水準かやや高い、つまり期待はそれなりに高いが、「やや減」「減」といったマイナス面評価は、他県と比べると更に高い。当県・地域ではリニア開通に伴う「ストロー効果」や「競争の激化」といった面をたいへん厳しく捉えている、ということが読み取れる。

⑥ 長野県駅の利用者数

計画に対する利用者数の予測は右グラフの通りで、「やや少ない」「少ない」計は43%と4県ではいちばん大きく、神奈川県駅の38%がこれに次いでいる。山梨・岐阜県駅は15~20%程度である。

Q：リニア新幹線開業による地域への影響については



(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数							
	飯伊地区		飯田～新宿		駒ヶ根・伊那～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成26年	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	—	—	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	—	—	203,315	4.1	124,261	10.1
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	—	—	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
29	705	11.2	327,875	0.5	—	—	218,764	4.8	115,698	△ 0.1
30	637	△ 9.6	327,033	△ 0.3	—	—	219,979	0.6	112,882	△ 2.4
令和元	—	—	326,056	△ 0.3	263,821	—	226,581	3.0	108,454	△ 3.9
平成30.10	47	△ 25.4	27,355	1.7	—	—	18,546	1.2	9,903	△ 1.8
11	95	18.8	26,399	2.4	21,038	—	17,852	△ 2.0	9,602	1.6
12	44	△ 8.3	28,429	0.6	23,128	—	18,173	1.1	8,425	△ 3.8
平成31.1	56	7.7	26,728	4.6	21,047	—	17,858	2.0	8,436	0.8
2	40	△ 25.9	23,442	5.8	18,738	—	17,414	3.3	8,411	△ 0.7
3	47	2.2	30,699	4.4	25,245	—	20,254	△ 0.9	9,841	△ 2.0
4	51	△ 28.2	26,487	2.8	21,794	—	18,656	3.9	9,366	△ 1.1
令和1.5	60	△ 3.2	27,951	1.0	22,632	—	19,000	4.2	9,924	△ 1.3
6	57	7.5	24,662	2.4	20,083	—	17,123	6.6	9,501	△ 2.6
7	64	146.2	26,294	0.5	21,589	—	18,357	7.3	9,422	△ 1.5
8	49	6.5	36,863	0.4	29,454	—	22,870	0.4	9,253	△ 8.7
9	70	70.7	27,864	1.9	22,699	—	18,823	2.0	8,673	△ 4.6
10	52	10.6	18,730	△ 31.5	15,972	—	19,223	3.7	8,848	△ 10.7
11	98	3.2	27,708	5.0	21,979	4.5	18,445	3.3	8,873	△ 7.6
12	—	—	28,628	0.7	22,589	△ 2.3	18,558	2.1	7,906	△ 6.2
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社							

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本自動車検査登録事務所管内)				有効求人倍率		
	新車		中古車		長野県	飯田管内	
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数
	台	%	台	%	倍	倍	倍
平成26年	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—	—
30	27,525	0.6	7,352	1.1	1.69	—	—
令和元	29,312	6.5	8,548	16.3	—	—	—
平成30.10	2,211	14.0	623	4.9	1.68	1.58	1.66
11	2,293	10.1	572	8.5	1.68	1.54	1.68
12	1,961	△ 1.9	584	△ 1.5	1.69	1.65	1.65
平成31.1	1,888	△ 0.8	457	8.3	1.65	1.53	1.65
2	2,370	0.6	553	4.3	1.64	1.38	1.46
3	3,669	△ 4.8	892	10.0	1.64	1.31	1.41
4	2,291	20.7	881	40.3	1.68	1.29	1.41
令和1.5	2,236	17.9	697	16.8	1.69	1.31	1.48
6	2,643	20.7	769	4.3	1.65	1.40	1.49
7	2,733	22.6	800	29.7	1.60	1.48	1.54
8	2,234	5.9	622	△ 3.1	1.57	1.47	1.49
9	3,342	27.4	804	36.5	1.56	1.45	1.50
10	1,796	△ 18.8	761	22.2	1.53	1.38	1.40
11	2,100	△ 8.4	652	14.0	1.50	1.41	1.44
12	2,010	2.5	660	13.0	—	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田		

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成26年	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
30	40,929	54,405,406	93	20	1,815	△ 5.2
令和元	37,047	51,833,945	79	8	1,842	1.5
平成30.10	3,846	4,311,935	11	6	134	△ 5.6
11	3,163	3,725,724	9	3	138	△ 2.8
12	3,004	4,409,032	3	0	150	△ 19.4
平成31.1	3,690	5,445,545	11	1	126	△ 6.0
2	3,040	4,177,126	4	0	150	△ 5.7
3	2,710	5,116,670	8	0	174	△ 15.9
4	3,027	3,785,301	7	1	129	6.6
令和1.5	3,616	5,248,472	4	0	144	△ 21.3
6	2,580	4,130,285	3	1	132	△ 11.4
7	3,633	4,789,801	5	0	163	12.4
8	2,600	3,662,131	6	0	145	△ 1.4
9	3,281	4,833,989	7	3	178	20.3
10	3,061	3,297,989	6	0	148	10.4
11	2,453	2,859,532	8	2	146	5.8
12	3,356	4,487,104	10	0	207	38.0
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成26年	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1
令和元	2,741,865	△ 0.9	1,836,395	△ 1.9	405,661	△ 4.3	1,015,783	△ 0.2
平成30.10	249,194	4.6	174,737	3.2	45,930	57.5	96,696	8.2
11	245,989	0.5	184,362	0.4	38,239	13.8	95,649	0.1
12	226,974	△ 0.1	152,750	△ 1.8	25,255	2.9	73,465	△ 3.5
平成31.1	209,607	1.4	133,259	△ 1.1	25,060	△ 5.6	66,977	△ 0.3
2	196,648	0.9	125,140	△ 2.5	24,144	△ 6.4	63,059	△ 0.5
3	236,623	0.7	149,803	△ 1.6	26,981	△ 5.1	77,548	△ 2.3
4	226,394	0.6	146,763	0.7	45,245	△ 21.4	89,223	△ 2.9
令和1.5	236,073	△ 0.2	154,855	0.3	52,623	32.0	93,755	7.2
6	215,770	△ 2.9	146,768	△ 2.6	29,408	△ 9.7	73,196	△ 2.7
7	233,275	0.4	154,940	△ 3.0	26,090	△ 23.4	80,857	△ 10.0
8	258,453	△ 0.7	170,028	△ 1.8	40,786	△ 3.2	109,486	△ 2.9
9	235,384	2.2	163,738	2.1	31,818	15.7	89,027	5.2
10	227,683	△ 8.6	158,983	△ 9.0	34,620	△ 24.6	88,618	△ 8.4
11	243,323	△ 1.1	180,205	△ 2.3	41,391	8.2	105,597	10.4
12	222,632	△ 1.9	151,913	△ 0.5	27,495	8.9	78,440	6.8
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							